

北海道でのさつまいも苗のふやし方

概要 Abstract

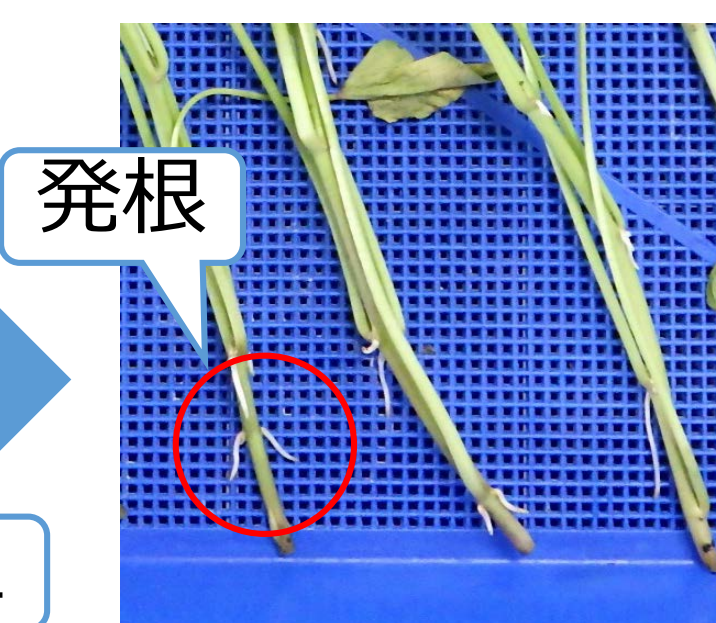
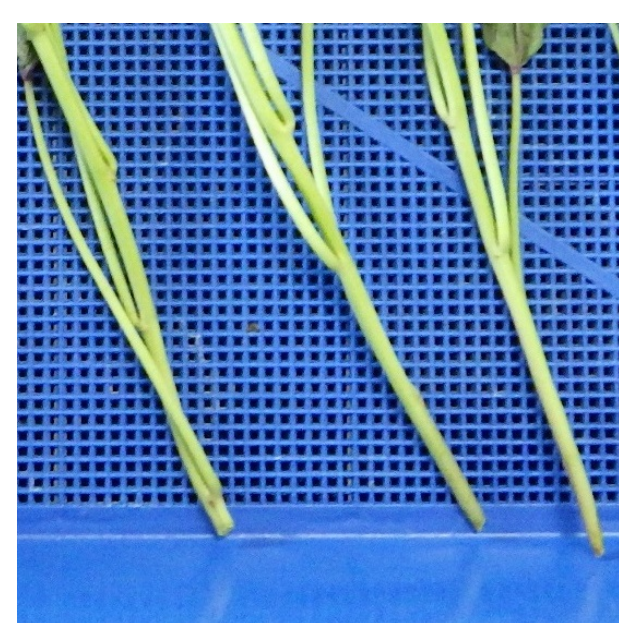
従来の購入苗を直接本圃定植する場合と比べて種苗コストを低減するために、北海道独自の無加温ハウスを利用した育苗技術を開発しました。



成果 Results

1. 親苗の準備、発根処理

- 4月中～下旬に道外からウイルスフリー切り苗を親苗として購入します。水の入ったバケツに苗の切り口を浸し、発根させます。



2. 摘心、苗床定植、管理

- 発根苗先端 (切り口から9節を目安) を摘心し、切り口から2節を地面に埋めます。
- 25cm四方に1株の割合(栽植密度16株/m²)で植えます。
- 5月上旬まではトンネル被覆を行い、高温・高湿度で管理します。



- 緑または黒マルチ使用
- N:P₂O₅:K₂O = 15-15-15g/m²
- 本圃10aあたり約30m²の苗床が必要



- 日平均20℃管理を目標
- 約10日でわき芽が伸長



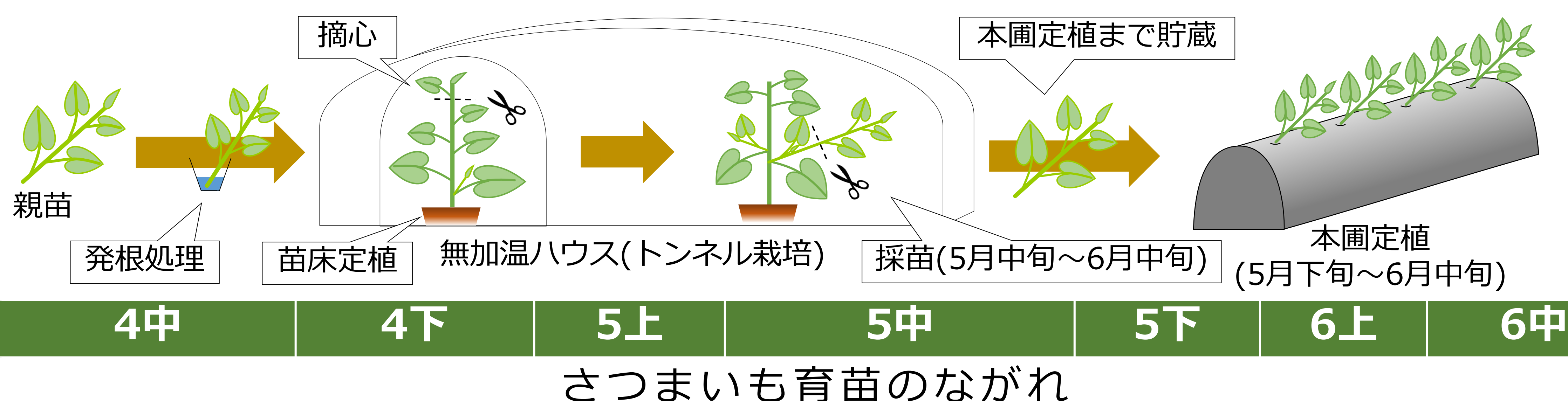
3. 採苗、貯蔵

- 5月中旬以降、わき芽が8節以上(8枚以上展開)になったら、2節残して切り、本圃定植苗とします。
- 採った苗は圃場定植まで乾燥させないようにビニールで覆い、15～20℃で管理します。

- 目標7本/株以上採苗



- 10日間貯蔵可能



普及 Dissemination

さつまいも栽培マニュアルを改訂し、育苗法を掲載しました。試験場HPで公開します。



連絡先 Contact

道南農業試験場
研究部 地域技術グループ
0138-77-8116
donan-agri@hro.or.jp

